

トークセッション

“地域循環共生圏になっている”とはどういうことか？

パネリストのご紹介

パネリスト(敬称略)

鬼沢良子 NPO持続可能な社会をつくる元気ネット・理事長

佐原あきほ 株式会社 価値総合研究所 ポリシーエンジニアリング事業部長)

古澤礼太 中部大学国際ESD・SDGsセンター准教授、中部ESD拠点協議会事務局長

水上聡子 EPO中部運営委員、アルマス・バイオコスモス研究所代表

堺 勇人 EPO中部運営委員、一般社団法人 環境市民プラットフォームとやま(PECとやま)事務局長

コーディネーター

原 理史 中部地方ESD活動支援センター

環境省EPO中部 活動評価手法検討WKG（対象：ローカルSDGs活動）

- 古澤礼太 中部大学国際ESD・SDGsセンター准教授、中部ESD拠点協議会事務局長
水上聡子 EPO中部運営委員、アルマス・バイオコスモス研究所代表
堺 勇人 EPO中部運営委員、一般社団法人 環境市民プラットフォームとやま（PECとやま）事務局長
原 理史 中部地方ESD活動支援センター、中部大学国際ESD/SDGsセンター研究員
【オブザーバー】 環境省 中部地方環境事務所環境対策課
【事務局】 清本三郎 中部環境パートナーシップオフィス（EPO中部） 統括

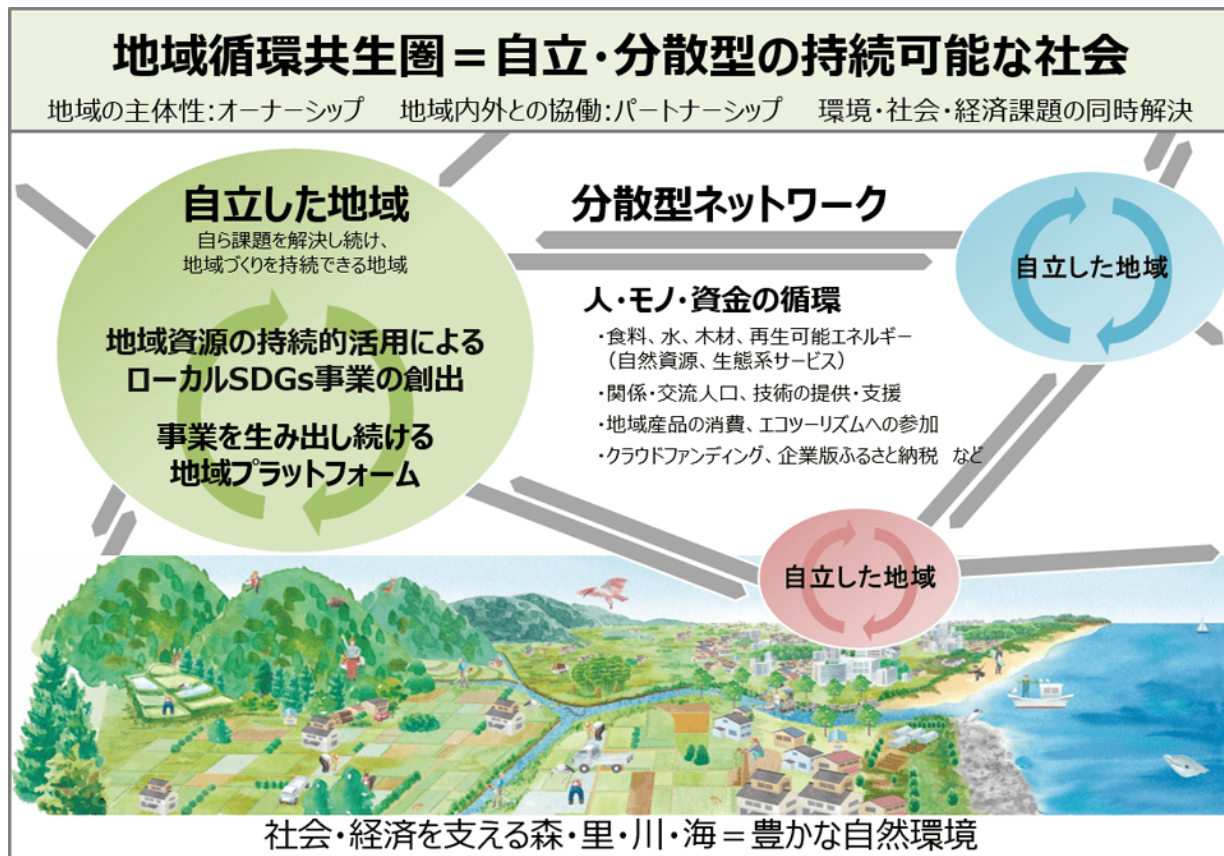
富山	6月5日	第1回検討会
名古屋	9月18日	第2回検討会
福井	11月12日	第3回検討会

有識者によるワーキンググループにより、地域循環共生圏づくりの活動の評価手法を検討する

“地域循環共生圏”とは何か？

● 地域循環共生圏【本議論の定義】(出典：第六次環境基本計画p45)

地域循環共生圏は、地域の主体性を基本として、**地域資源を持続的に活用して環境・経済・社会を統合的に向上していく事業**を生み出し続けることで、**地域課題を解決し続ける「自立した地域」**をつくとともに、それぞれの**地域の個性を活かして地域同士が支え合うネットワーク**を形成する「自立・分散型社会」の実現を目指すものである。その際、私たちの暮らしが、森里川海のつながりからもたらされる**自然資源を含めて地上資源を基調として成り立つようにしていくために、これらの資源を持続可能な形で活用し、自然資本を維持・回復・充実していくことが前提となる。**



1. 自立した地域をつくるため生み出す「地域資源を持続的に活用して環境・経済・社会を統合的に向上していく事業」=「ローカルSDGs活動」とは？
2. 「地域の個性を活かして地域同士が支え合うネットワークを形成する」とは？
3. 前提となる「自然資源を含めて地上資源を基調として成り立つようにしていくために、これらの資源を持続可能な形で活用し、自然資本を維持・回復・充実していく」はどのように？

トークセッションの進め方

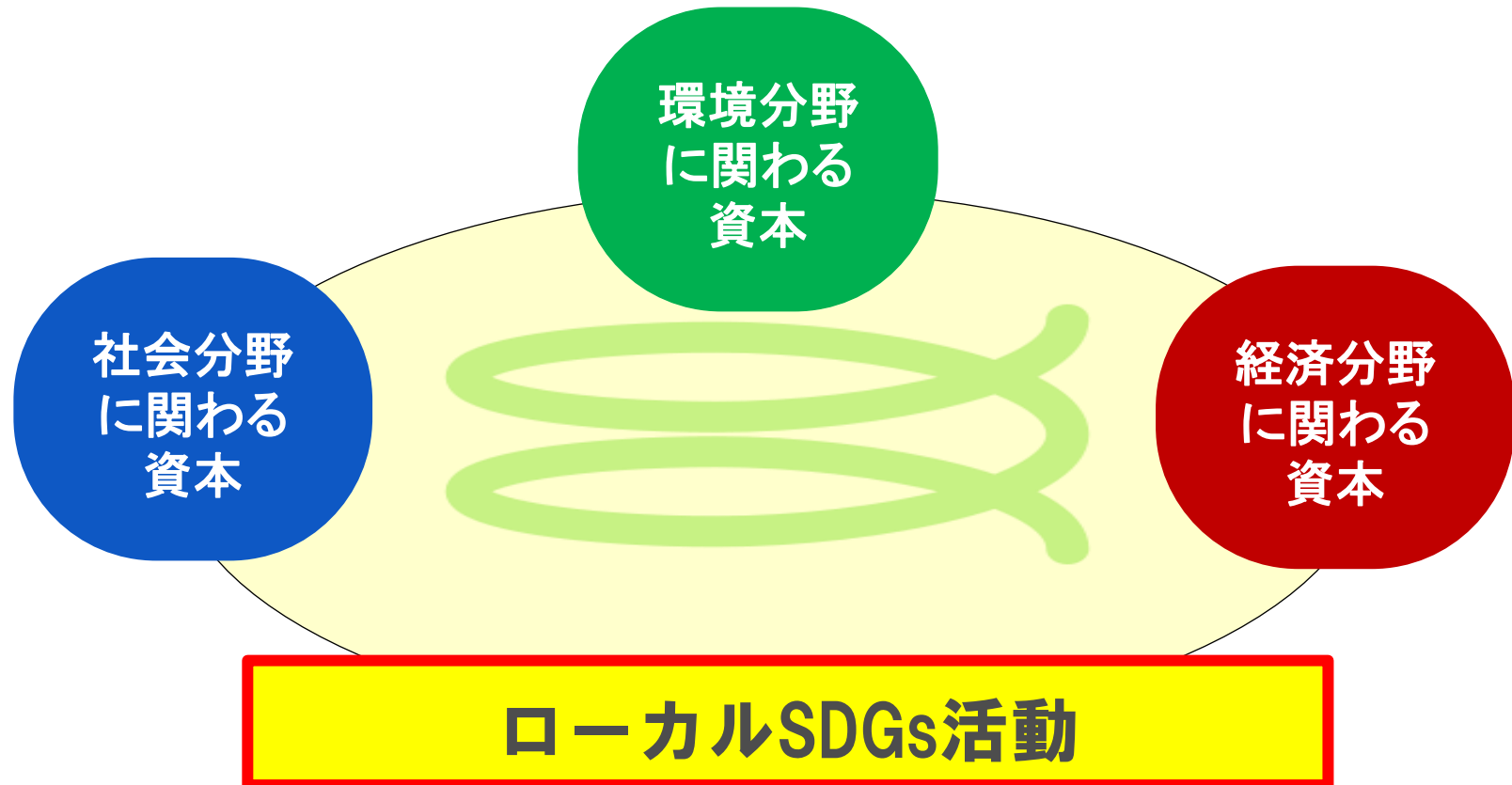
- 関係するEPO中部での議論の紹介
地域循環共生圏づくりの活動の評価手法の検討

- ディスカッション

1. 自立した地域をつくるため生み出す「地域資源を持続的に活用して環境・経済・社会を統合的に向上していく事業」＝「ローカルSDGs活動」とは？
2. 「地域の個性を活かして地域同士が支え合うネットワークを形成する」とは？
3. 前提となる「自然資源を含めて地上資源を基調として成り立つようにしていくために、これらの資源を持続可能な形で活用し、自然資本を維持・回復・充実していく」はどのように？

価値基準（WKGの議論）

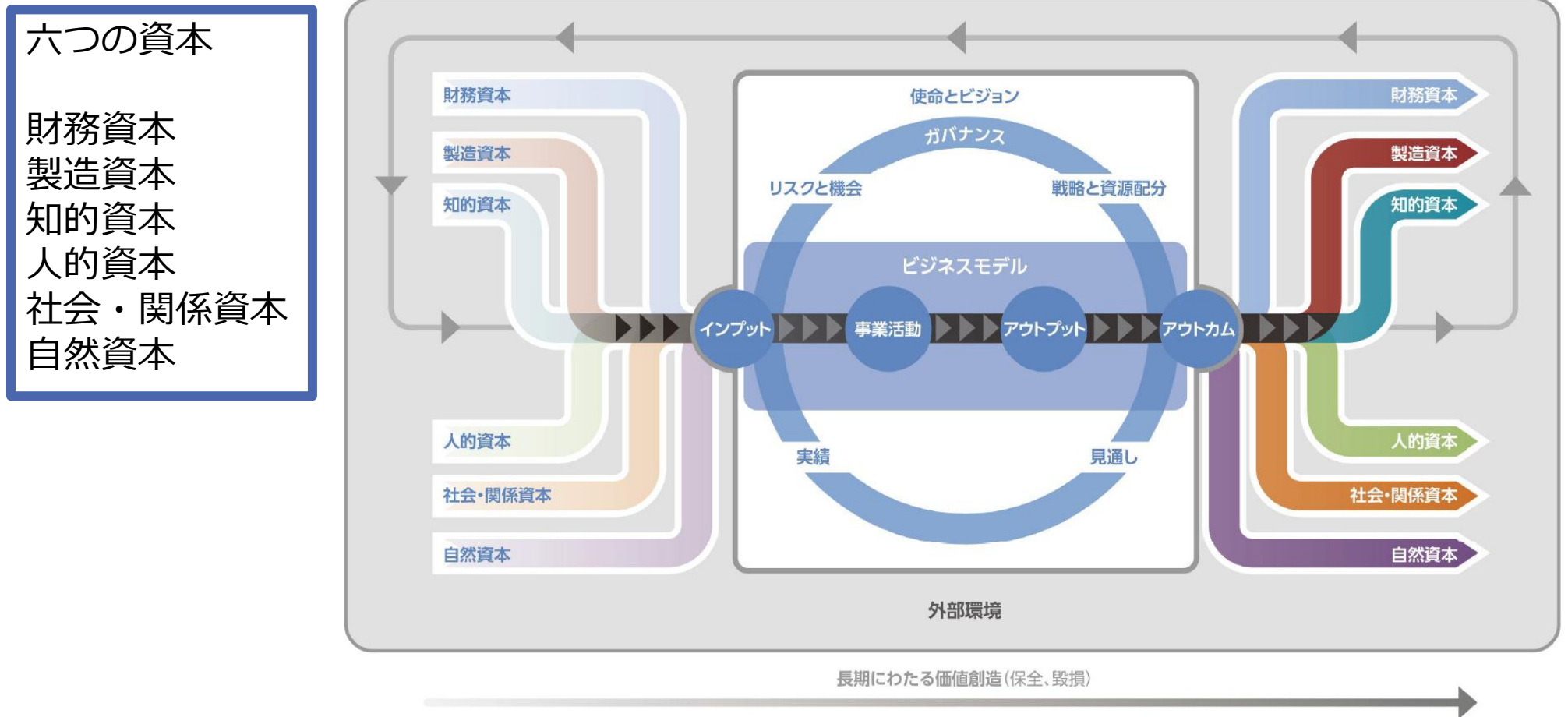
ローカルSDGs活動の効果が環境，社会，経済の各分野に波及し，それにより，環境，社会本，経済のそれぞれに関わる分野の資本が蓄積されること



六つの資本、持続可能事業へのアプローチ：IIRCのフレームワーク

IIRC：International Integrated Reporting Council（国際統合報告評議会）の略称。財務資本の提供者が利用可能な情報の改善、効率的に伝達するアプローチ確立等を目指し2010年にA4S（The Prince's Accounting for Sustainability Project）とGRI（Global Reporting Initiative）によって設立。規制者、投資家、企業、基準設定主体、会計専門家及びNGOにより構成される国際的な連合組織。

オクトパスモデル（事業による六つの資本の増加）



六つの資本

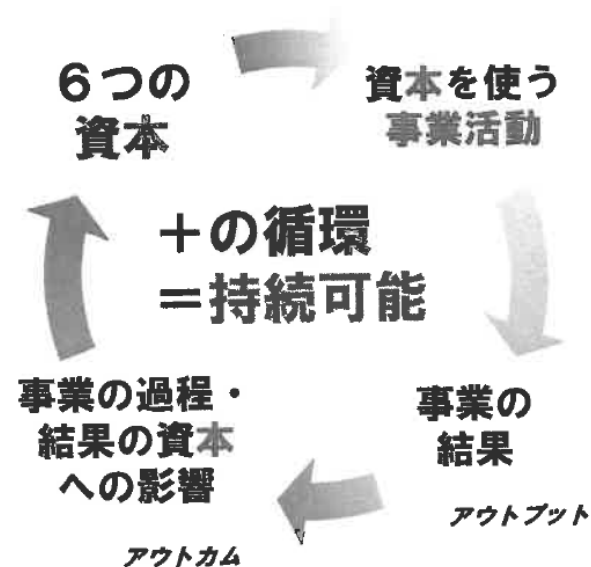
- 財務資本
- 製造資本
- 知的資本
- 人的資本
- 社会・関係資本
- 自然資本

持続可能事業へのアプローチ：広石の主張

図表8-7 地域・社会の6つの資本の例(広石、2018年)

- **財務資本**：地域の経済力、財政状況、事業者の売上高、住民の購買力、地域への投資
- **製造資本**：建造物、工場、公共施設、住宅、道路・上下水道・通信などの社会インフラ
- **知的資本**：地域の知恵、伝承、教育、学びの場、住民自治の技術、ICT活用
- **人的資本**：人材、多様性、地域への誇りと責任感、地域づくりへの意欲・スキル
- **社会・関係資本**：コミュニティ、共助、相互信頼、対話、関係人口、公正さへの信頼
- **自然資本**：自然、天然資源、地形、景観、グリーンインフラ、生物多様性、農地・漁場の豊かさ

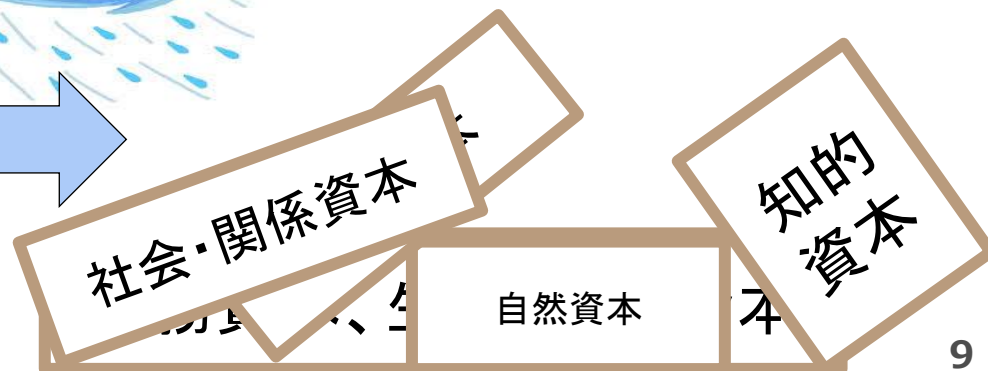
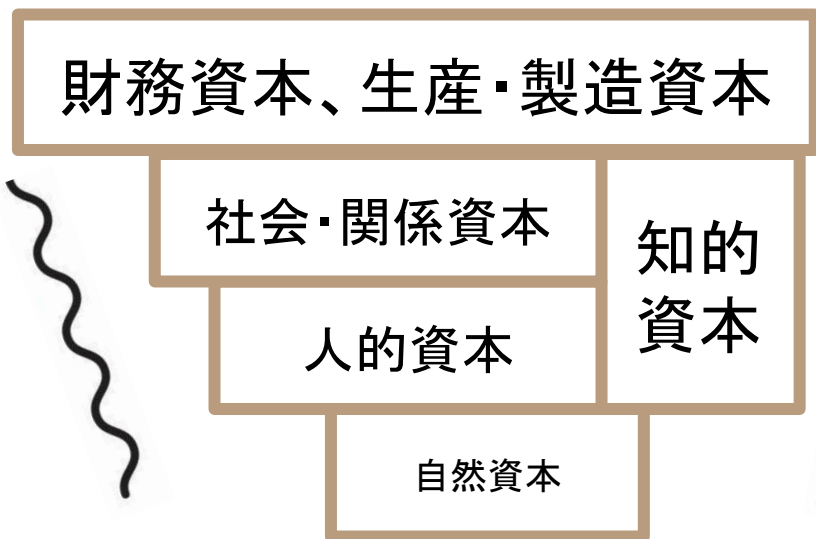
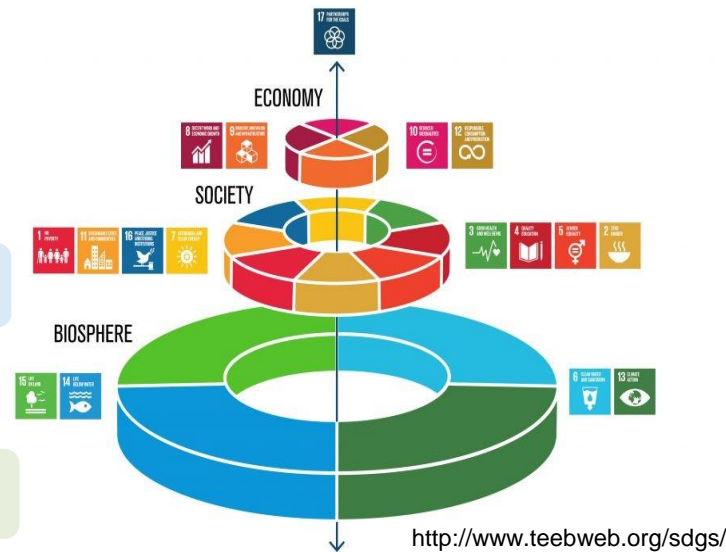
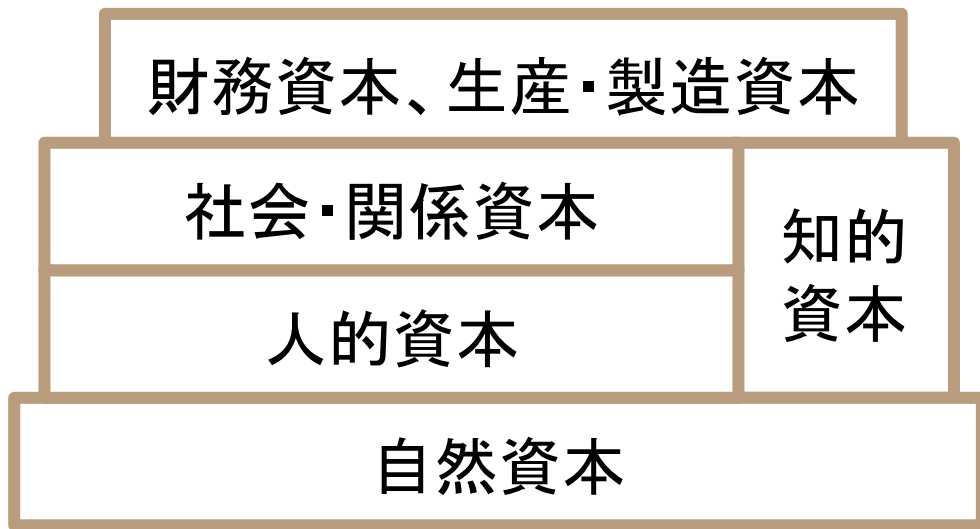
図表8-6 6つの資本を活かした持続可能な事業の考え方(広石、2020年)



出展：ソーシャル・プロジェクトの担い手 持続可能な世界に向けて好循環を生み出す人のあり方・学び方・働き方 佐藤真久・広石拓司 著 213ページ～219ページ

資本の積み木 (試案) WKGの議論

- 崩れない資本のバランスが持続可能性と強靱性にとって重要
資本の積み木



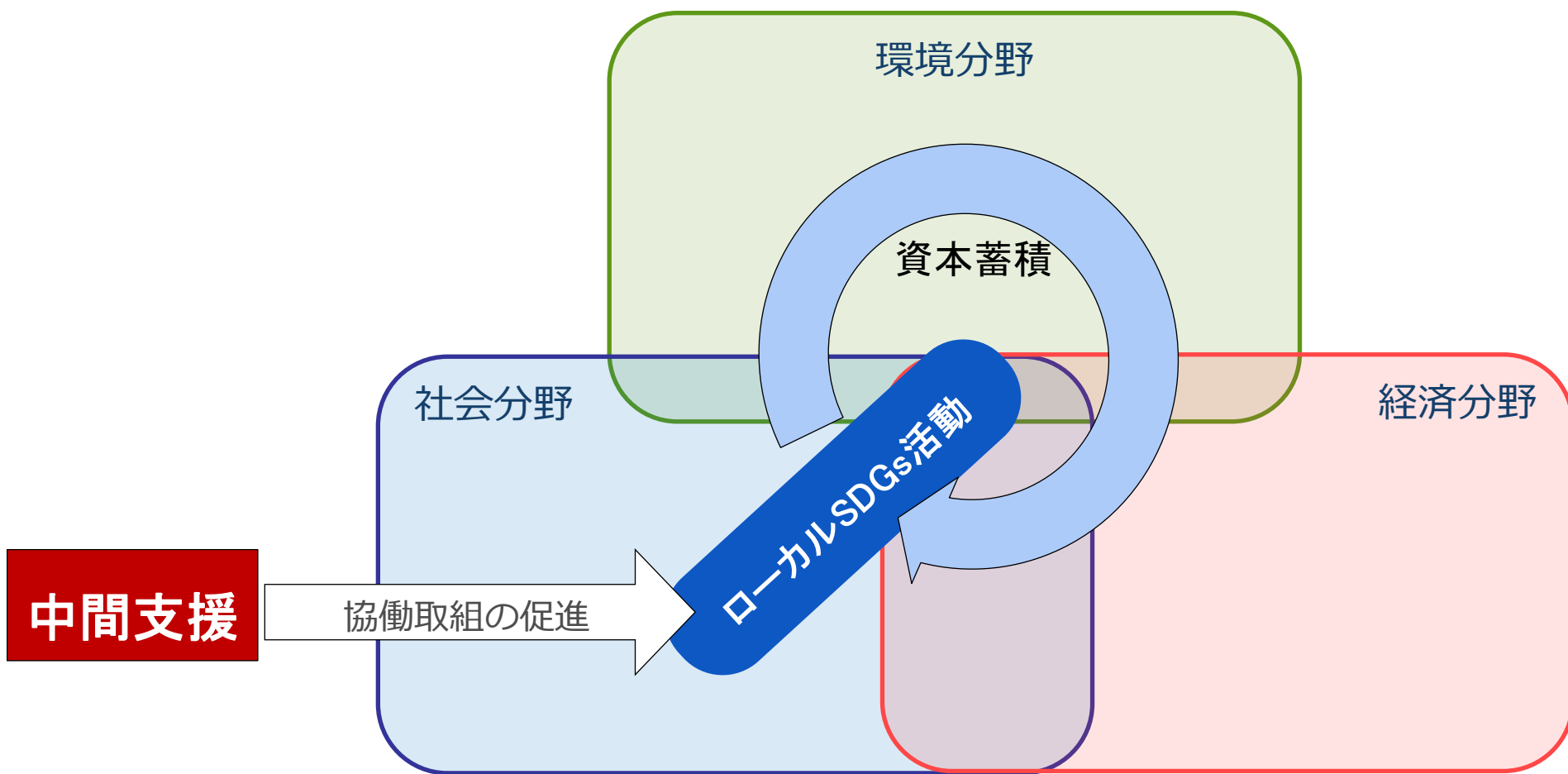
地域循環共生圏取組チェック（評価）項目の検討：WKGの議論

- その取組は地域循環共生圏に貢献する資本増加に繋がるのか、事前チェックリスト(案)

六つの資本	評価項目の例
1 財務資本 (地域循環 財務資本) 地域内での経済循環になっているか	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域にお金を落とすようになっているか ● 地域への投資になっているか
2 製造資本 (地域循環 生産・製造資本) 地域資源・エネルギーが持続可能な形で使えるようになっているか	<ul style="list-style-type: none"> ● 地産地消を目指しているか ● 資源循環を目指しているか ● 再生可能エネルギーを使おうとしているか ● 防災・減災に役に立つか
3 知的資本 (地域共生 知的資本) : 地域の文化、知恵などが生かされているのか、水準の高い知見が用いられているか	<ul style="list-style-type: none"> ● 様々な場面での教育を進めようとしているか ● 住民自治を取り入れようとしているか ● 伝統的文化・知恵を活用しようとしているか ● 高等知見の導入をしようとしているか ● ICT活用を進めようとしているか
4 人的資本 (地域共生 人的資本) : 地域の多様な人々が共生できているか	<ul style="list-style-type: none"> ● 主体的・意欲的な人がいるか ● 愛着・誇り・責任感のある人がいるか ● 包摂社会を目指しているか
5 社会関係資本 (地域共生 社会関係資本) : 地域の繋がり・コミュニティづくりにつながっているか	<ul style="list-style-type: none"> ● 対話型の議論・交流を作ろうとしているか ● 相互信頼を醸成しようとしているか ● 公正さに重きをおいているか ● 共助を取り入れようとしているか
6 自然資本 (地域循環共生 自然資本) : 地域の自然・生物多様性が守られているか	<ul style="list-style-type: none"> ● 生物多様性を守ろうとしているか ● グリーンインフラ・景観の向上に配慮しているか ● 脱炭素を進めようとしているか ● 自然資源の保全活用を進めようとしているか ● 農地・漁場を持続可能な形で使おうとしているか

中間支援と協働取組：地域循環共生圏を念頭に

- 地域循環共生圏における中間支援
協働取組を通じて社会、環境、経済に関わる資本を蓄積させる



“地域循環共生圏になっている”とはどういうことか？

● 地域循環共生圏【本議論の定義】

地域循環共生圏は、地域の主体性を基本として、地域資源を持続的に活用して環境・経済・社会を統合的に向上していく事業を生み出し続けることで、地域課題を解決し続ける「自立した地域」をつくとともに、それぞれの地域の個性を活かして地域同士が支え合うネットワークを形成する「自立・分散型社会」の実現を目指すものである。その際、私たちの暮らしが、森里川海のつながりからもたらされる自然資源を含めて地上資源を基調として成り立つようにしていくために、これらの資源を持続可能な形で活用し、自然資本を維持・回復・充実していくことが前提となる。

1. 自立した地域をつくるため生み出す「地域資源を持続的に活用して環境・経済・社会を統合的に向上していく事業」＝「ローカルSDGs活動」とは？

・三つの分野で資本を積み上げるという考え方は？

・その方法（中間支援など）やそのためのお金（地域経済循環など）は？

2. 3. も視野に1.
を中心に議論

2. 「地域の個性を活かして地域同士が支え合うネットワークを形成する」とは？

3. 前提となる「自然資源を含めて地上資源を基調として成り立つようにしていくために、これらの資源を持続可能な形で活用し、自然資本を維持・回復・充実していく」はどのように？